

ミヤコシ

軟包装にも威力発揮 - スリーブ式オフセット輪転発表 -

ミヤコシ(千葉県習志野市 ☎047-493-3854)は、ラベル業界向け高品質の可変タイプでスリーブ式オフセット輪転機「MHL13A-3000」を開発した。11月27日～29日の3日間、ミヤコシテクノセンター(千葉県八千代市)で開催のオープンハウスで、新開発の高速 IJP とともに同輪転機を一般公開する。

.....

ラベル印刷業界も、さまざまな機材に高品質で高精度の印刷要求が増えてきている。しかし、従来の間欠式印刷機では機材の伸縮などにより精度を維持するには、印刷スピードを落とすか、熟練のオペレーターの高度な技術が求められた。

そこで同社は、独自の新技术クイックチェンジ式メタルスリーブ(特許申請中)を採用した可変タイプのスリーブオフセット輪転機 MHL13A-3000 を開発するにいたった。

同輪転機は連続式でありながら、ジョブチェンジのダウンタイムを大幅に短縮することで、オフセットの高品質と間欠式の高生産性を兼ね備え、コストパフォーマンスも高い。また LED-UV 搭載によりフィルムなどの熱に敏感な機材への印刷も可能になることから、軟放送分野にも威力を発揮する。しかも、低臭感想・省電力化による環境負荷低減を目指した業界の要求にもこたえる印刷機だといえる。

今後、同社ではオフセット、フレキソ、グラビアとのコンビネーションのほか、高付加価値のインライン加工装置もラインナップし、紙器・軟放送業界へも提案していくとともに、カセット交換ではなく、スリーブ交換で対応できるというメリットを訴え、従来のビジネスフォームユーザーへも提案をしていく。

(2012年11月05日 包装タイムス 掲載)